

 シラバス参照

&lt;&lt;最終更新日：2016年02月15日&gt;&gt;

**基本情報**

時間割コード	135511	開講区分(開講学期)	1 学期	曜日・時間	月2
開講科目名	日本語教育学入門A				
開講科目名(英)	Introduction to Japanese Language Teaching A				
単位数	2				
対象所属		年次	1,2,3,4,5,6年		
担当教員	真嶋 潤子	開講言語	日本語		

**基本項目**

サブタイトル 日本語教育学の基礎知識

セミナー番号

履修対象 人外法

履修その他 「履修対象」は、正規「セメスター」で対象となる学部を指します。  
高年次（再履修等）の場合は、他の学部でも履修できます。

開講時期

セメスター Ⅰ

講義室

**詳細情報**

**授業の目的と概要** 日本語教育学の基礎知識を広く身につけ、学習者を理解して、コース・デザインや教授法、教材のねらいや特徴、問題点を理解し、また日本語教育政策から見た現代的問題への認識を深める。

**学習目標** 日本語教育の多様な対象者や国内外の現状について、現代日本社会の課題ともからめて幅広く理解するとともに、日本語教育現場での指導内容や方法についての基本的知識を身につける。

**特記事項** 海外ならびに国内における日本語教育の現状を、歴史的変遷を踏まえて紹介する。

日本語教育が対象とする学習者の多様性を理解し、指導内容や教授法、評価、さらに第二言語習得理論についても最近の知見を含めて理解する。

**授業形態** 講義科目

教科書や資料を読み込む。

**授業外における学習** 日本語学習者を知るための課題を行う。  
日本語や外国語の教材を調べ、課題を行う。  
など

<b>教科書・教材</b>	高見澤孟 (2004) 『新・はじめての日本語教育2 日本語教授法入門』 アスク これ以外に、授業中の配布資料と、ネット上の資料を使う予定である。
<b>参考文献</b>	遠藤織枝編 (2006) 『日本語教育を学ぶ -その歴史から現場まで』 三修社 日本語教育政策マスタープラン研究会編 (2010) 『日本語教育でつくる社会 -私たちの見取り図-』 ココ出版 その他、授業中に紹介します。
<b>成績評価</b>	[出席数+課題・提出物+学期末試験] の結果を総合的に評価する。
<b>受講生へのメッセージ</b>	将来日本語教師になりたい人にはもちろんのこと、特にそうは思っていない人にも「日本語教育を理解した市民」になってもらいたいと思っています。

## 授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名	e-mail
データがありません		

## 授業計画

- 1 日本語教師の役割
- 2 海外の日本語教育の現状と課題
- 3 国内の日本語教育の現状と課題
- 4 日本語学習者と日本語教育政策
- 5 コース・デザイン (1)
- 6 コース・デザイン (2)
- 7 初級の教え方 (1)
- 8 初級の教え方 (2)
- 9 中上級の教え方 (1)
- 10 中上級の教え方 (2)
- 11 教材分析
- 12 評価と試験
- 13 いろいろな外国語教授法 (1)
- 14 いろいろな外国語教授法 (2)
- 15 総括